

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限	
請求実務演習Ⅲ Medicai Coding Ⅲ		1年	集中（後期）	別途、時間割参照	
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限	
2単位	演習	選択	（（請求実務演習Ⅰ・Ⅱ履修者））		メディカルクラーク検定必修科目
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目					
同時に履修しておくことが望まれる科目					
医療情報処理演習・基礎医学・臨床医学科目					
担当者に関する情報					
氏名		研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
堀口 智栄子		非常勤講師室	水の9時から13時（授業時間を除く）		授業中に指示します
授業の概要					
診療報酬（医療費）の仕組みや算定方法について、請求実務演習Ⅰ・Ⅱで触れられなかった内容を中心に ①診療報酬点数②診療録（カルテ）③診療報酬請求事務④診療報酬明細書（レセプト）の4つの事項を主たる授業内容として 制度の理解とその運用についての習得を図る。また、12月に受験する検定対策も行う。					
授業の目標					
①診療録（カルテ）の専門用語を説明できるようにする。 ②外来と入院の診療報酬明細書の点検が正確にできるようにする。 ③医療事務技能審査試験に合格できるようにする。					
授業の方法					
演習問題の事例を検討しながら、正確な請求事務と先進医療の理解を図る。					
学習の成果（学習成果）					
①医療保険制度に基づき診療報酬明細書（レセプト）を点検することができる。 ②医療事務技能審査試験に合格できる。					
授業のスケジュールと内容					
第1回目	外来カルテ点検及び事例検討（内科）①				
第2回目	外来カルテ点検及び事例検討（内科）②				
第3回目	外来カルテ点検及び事例検討（外科）①				
第4回目	外来カルテ点検及び事例検討（外科）②				
第5回目	外来カルテ点検及び事例検討（小児科）①				
第6回目	外来カルテ点検及び事例検討（小児科）②（小テストⅠ）				
第7回目	外来カルテ点検及び事例検討（耳鼻咽喉科）①				
第8回目	外来カルテ点検及び事例検討（耳鼻咽喉科）②				
第9回目	外来カルテ点検及び事例検討（眼科）①				
第10回目	外来カルテ点検及び事例検討（眼科）②				
第11回目	外来カルテ点検及び事例検討（整形外科）①				
第12回目	外来カルテ点検及び事例検討（整形外科）②				

第13回目	外来カルテ点検及び事例検討（消火器内科）①	
第14回目	外来カルテ点検及び事例検討（消火器内科）②（小テストⅡ）	
第15回目	入院サマリー点検及び事例検討（内科）①	
第16回目	入院サマリー点検及び事例検討（内科）②	
第17回目	入院サマリー点検及び事例検討（外科）①	
第18回目	入院サマリー点検及び事例検討（外科）②	
第19回目	入院サマリー点検及び事例検討（小児科）①	
第20回目	入院サマリー点検及び事例検討（小児科）②	
第21回目	入院サマリー点検及び事例検討（産婦人科）①	
第22回目	入院サマリー点検及び事例検討（産婦人科）②	
第23回目	公費医療制度のカルテ点検及び事例検討①	
第24回目	公費医療制度のカルテ点検及び事例検討②（小テストⅢ）	
第25回目	請求業務の実際①	
第26回目	請求実務の実際②	
第27回目	請求実務の実際③	
第28回目	請求実務の実際④	
第29回目	請求実務の実際⑤	
第30回目	請求実務の実際⑥	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	出された課題に集中して取り組んでいる。不明な点があれば積極的に質問している。
レポート		
調査報告書		
小テスト	20%	授業の進捗に合わせて随時確認テストを行い、理解度に応じて評価する。
試験	40%	授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。
発表内容（態度含む）		
その他	20%	検定の可否で加点する。
教科書と参考図書		
医療事務医科テキスト1～4（ニチイ学館）医療事務医科スタディブック1・2（ニチイ学館）医療事務医科ハンドブック（ニチイ学館）技能問題集（ニチイ学館）		
履修上の留意点・ルール		
請求実務演習Ⅰ・Ⅱを履修していること。メディカルクラークを受験する場合は必ず履修すること。電卓を必ず用意すること。		